

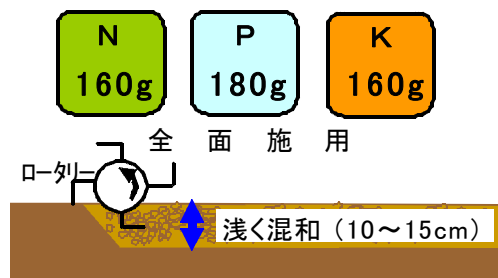
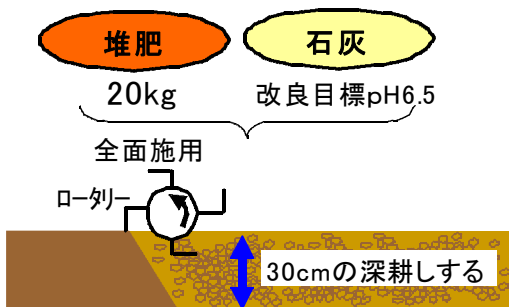
はくさい (アブラナ科)

月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月		
	旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
作 型																					
	<p>【7月どり】育苗期間30~40日</p>																				
	<p>【8月どり】育苗期間25~30日</p>																				
	<p>【9月どり】育苗期間30日</p>																				
<p>【10月どり】(移植の育苗20~25日)</p>																					

1 栽培管理

①畑の準備

はくさいは特にホウ素欠乏症が出やすいので、ホウ素入り肥料を使用します(有機肥料や野菜専用肥料には微量元素が含まれているものが多いので有効です)。また、りん酸地力の低い畑ではダブリン特17号などのりん酸資材の施用を行います。



畑の準備(10㎡当たり)

追肥
結球始め頃までに畦間に行う



表1 主な品種

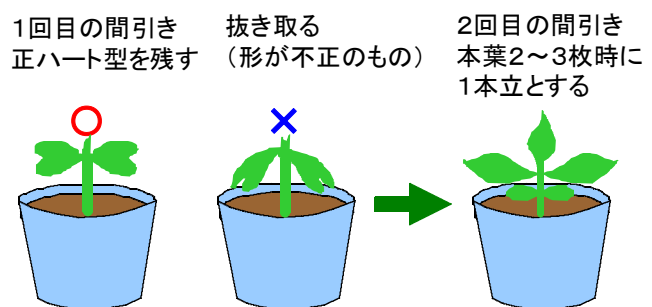
タイプ	品種名	早晩生	球型	球の大小	球のしまり	心色
白心	無春はるさか	双秋	円筒	中	中	白
	はるさか	早	円筒	中	ヤヤ良	白~黄
	玉胚	早	円筒	中	中	白~黄
黄心	新大優菊春	理想	円筒	ヤヤ大	ヤヤ良	淡黄
	理想	福	砲弾	中	中	黄
	福	黄	砲弾	中	ヤヤ良	黄
	錦	笑	砲弾	中	中	黄
	笑	65	砲弾	中	ヤヤ良	黄

表2 品種選定の目安

収穫期	品種名			
7月どり	無双	はるさかり	春笑	CR清雅65
8月どり	無双	大福	春秋	優黄
9月どり				
10月どり	玉胚	春秋		

②育苗

健全な苗は球揃いを良くし、収穫作業をとてもし易くします。このため育苗期間中ははくさい栽培にとって大切な時期となります。



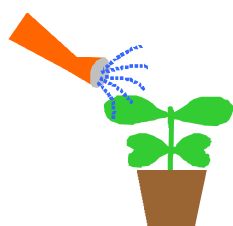
はくさいの育苗温度(℃)

		育苗前期	育苗中期	育苗後期
気温	昼	22~24	20~23	18~20
	夜	15~18	15~16	14~15

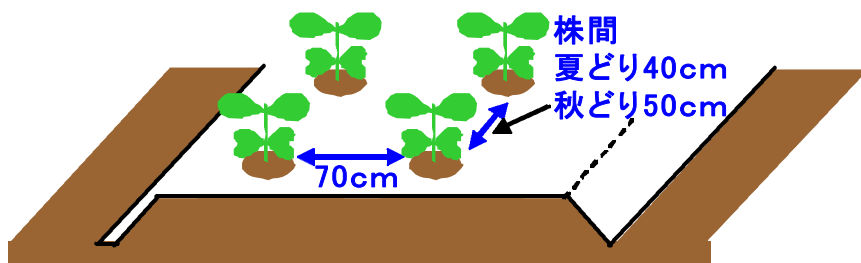
※育苗から定植までポイントはキャベツの項参照。

③定植

- ・マルチ栽培では定植の4～5日前までに畑作りを行い、肥料の分解と地温の確保に努めます。
- ・根張りの良否が収量と品質に大きく影響するため、いずれの作型においても、原則として高畦栽培(約5cm)を行います。
- ・苗は、定植の1週間くらい前から、徐々に外気温に馴らしてください。定植前日に十分かん水し、ポット内の土が湿った状態で定植します。
- ・ベタがけ資材を使用する場合は、定植後直ちに行います。ややゆとりをもたせて被覆し、生育にあわせて徐々に浮かします。被覆期間は6月20日までがめどとなります。



定植後のかん水は地温の低下を招くので、定植前日に苗床でたっぷりしておく。



④管理

- ・畦が茎葉で覆われる直前に、窒素とカリを畦間に施用し土とよく混和します。
- ・結球適温は15～16℃、23℃以上の高温になると生育が抑制され、結球期は軟腐病等に侵されやすくなるので対策が必要です。

※軟腐病

発生条件：高温、多雨、多湿。

対策：①害虫や中耕による傷等は発生を助長するので注意します。

②畑の透排水性を改善します。(暗きよ・明きよ・有機物の混和など)

- ・病虫害防除は：軟腐病、根こぶ病、黒斑病、白斑病、コナガ、ヨトウガ、モンシロチョウなどの病虫害が発生します。病虫害は連作によって発生が助長されることが多いので「輪作」を行うことが大切です。

資材による防除：網戸のような被覆資材が販売されており、トンネル被覆するとコナガ、アオムシ等に効果があります。

2 収穫の目安

- ・品種の早晩生による生育日数から、は種後の日数と球のしまり具合を判断します。収穫はできるだけ晴天時に行い、球のしまり具合は手で押さえて判断します(目安は、頂部を手のひらで軽く押さえて少しへこむ程度)。
- ・切り取った球は、しばらく放置して水気を切ります。